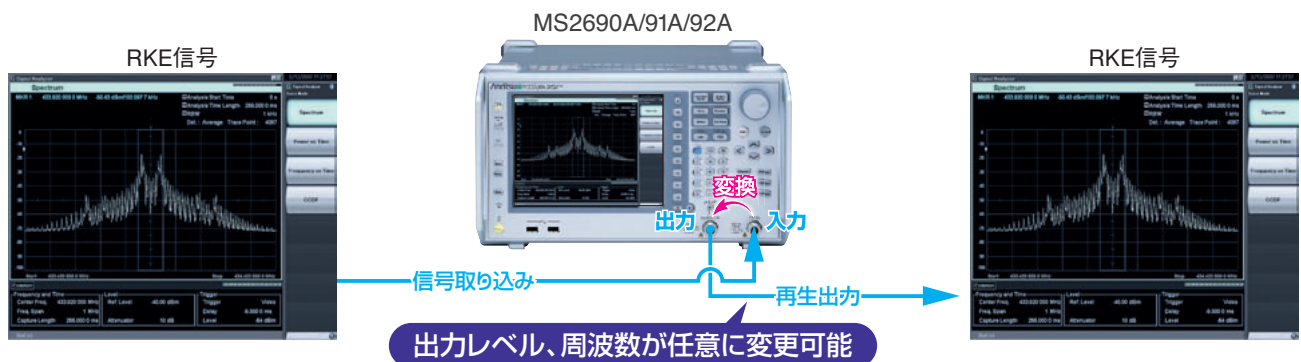


# 車関連ワイヤレス機器用測定器の提案

MS2690A/91A/92A  
シグナルアナライザ

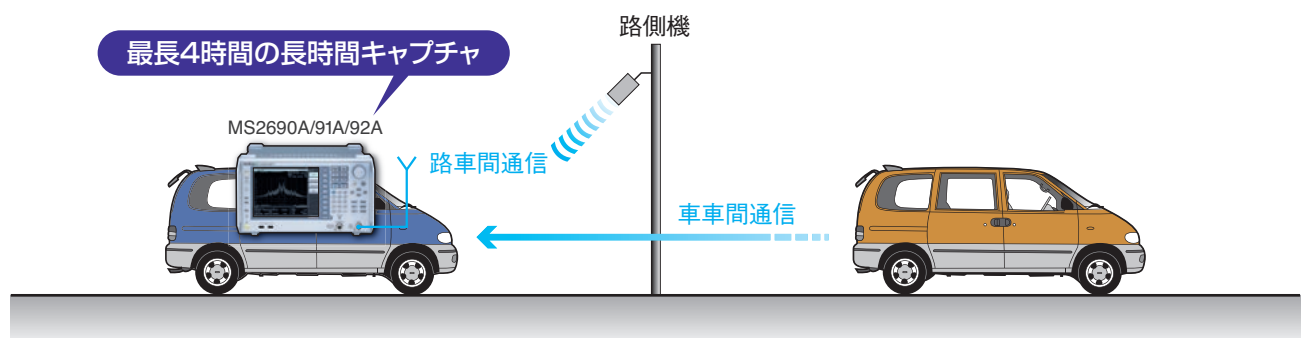
## RKE、TPMSなどの実信号を簡単にキャプチャ&再生出力

リモートキーレスエントリー (RKE)、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) などの実信号を取り込み、内蔵のベクトル信号発生器から再生出力できます。一度取込んで波形パターンに変換した信号は何度も繰り返し再生出力できるため、不具合の原因究明に役立ちます。また、信号発生器から再生出力する信号は、出力レベル、周波数が任意に変更できるため、DUTの受信特性検証が簡単に行えます。



## 車車間、路車間通信のフィールド測定に便利な長時間キャプチャ

MS2690A/91A/92A-050 HDDデジタイジングインタフェース オプションを搭載することにより、最大20MHz帯域のRF信号を最長4時間取りこぼしなく取り込めます。MATLABなどの解析ツールと組み合わせることにより、車車間、路車間通信として使用されるDSRC、IEEE802.11pなどのフィールドにおける信号特性の時間変動が計測できます。



## キャプチャした信号をVSA機能で多面解析

キャプチャ機能によりパルス的な信号やノイズなどを一定時間取りこみなく取り込み、VSA機能で解析できます。VSA機能は、①スペクトラム、②パワー vs. 時間、③周波数 vs. 時間など複数の視点から現象を検証できます。また、周波数/時間/パワーの3つの情報を一度に表示する④スペクトログラム表示により、スペクトラムの振る舞いが直感的に確認できます。FSK信号を用いたRKEやTPMSなどの車内ワイヤレス機器の開発、トラブルシュートに便利です。



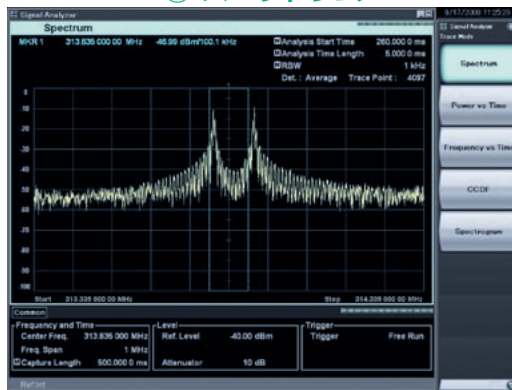
リモートキーレスエントリー (RKE)



タイヤ空気圧監視システム (TPMS)

## VSA機能によるRKE信号の測定例

### ① スペクトラム



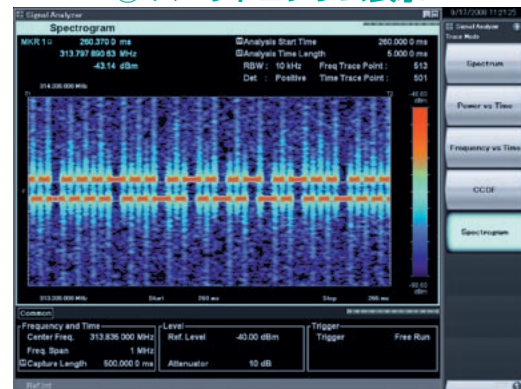
### ② パワー vs. 時間



### ③ 周波数 vs. 時間



### ④ スペクトログラム表示



## オーダリングインフォメーション (抜粋)

本体	MS2690A	シグナルアナライザ (50Hz~6GHz)
	MS2691A	シグナルアナライザ (50Hz~13.5GHz)
	MS2692A	シグナルアナライザ (50Hz~26.5GHz)
ハードウェアオプション	MS2690A/91A/92A-020	ベクトル信号発生器 (125MHz~6GHz)
	MS2690A/91A/92A-050	HDDデジタイジングインタフェース

・MATLAB®は、The MathWorks, Inc.の登録商標です。  
 ・その他記載されている会社名、製品名、およびサービス名などは、各社の商標または登録商標です。